

## 第8回 現代世界の系統地理的考察

## ■■ 自然環境編 ■■

## 世界の気候を見てみよう (4)

～変化に富む気候、寒冷な気候～

監修・講師

沼畑早苗

## 学習のねらい

今回は世界の気候区分のうち、温帯、亜寒帯、寒帯を取り上げて学習する。人々の生活は気候などの自然環境に影響を受ける。3つの異なる気候帯と各気候区の特徴を理解しながら、気候と人々の生活、特に食との関わりについて考察しよう。また、地球の気候を長期的にみると、変動を繰り返してきた。近年は人間活動による影響も大きい。地球が本来もつ長期的な気候変動を理解し、気候の変化が人々の生活に影響を与えることを理解しよう。

## 今回のポイント

- 温帯の自然と生活
- 亜寒帯・寒帯の自然と生活
- 変化する気候

## ■■■ 温帯の自然と生活 ■■■

温帯は、低緯度の暖気と高緯度の寒気の両方の影響を受けるため、四季の変化に富んだ温帯な気候風土に恵まれ、人間活動が最もさかんである。温帯はその特徴から、地中海性気候 (Cs)、温暖冬季少雨気候 (Cw)、温暖湿潤気候 (Cfa)、西岸海洋性気候 (Cfb) の4つの気候区に分類される。

同じ温帯でも、それぞれの気候区の特徴により、人々の暮らし、伝統的な食生活も異なっている。季節風 (モンスーン) の影響を受ける日本など東アジアでは豊富な降水を利用して稲作が盛んであり、中国中南部は世界でも有数の茶の産地となっている。ヨーロッパの地中海沿岸では夏の乾燥と高温に耐えるオリーブやぶどうなどの栽培がさかんであり、緯度 40～60 度の大陸西岸では、暖流と偏西風の影響により、年間を通して降水があり、気温の年較差が小さいことから、牧草がよく育つなどの特徴をいかした食文化が営まれてきた。

## ■■■ 亜寒帯・寒帯の自然と生活 ■■■

亜寒帯は、樹木が育つ気候のうち、最も寒冷な地域であり、ユーラシア大陸北部と北アメリカ大陸の北部に分布する。長い冬は寒さが厳しいが、夏は比較的暑くなるため、樹木が生育でき、人々は農業や牧畜を営んできた。タイガと呼ばれる針葉樹林が分布し、地下には、一年中土壌が凍結している永久凍土がある。亜寒帯は、一年中降水がある亜寒帯湿潤気候 (Df) と冬の降水量が少ない亜寒帯冬季少雨気候 (Dw) の2つの気候区に分類される。

寒帯は、寒さが一年中厳しく降水量は少ない。土壌は永久凍土であるため、植物が生育しにくく、樹木はみられない。寒帯は、ツンドラ気候(ET)と氷雪気候(EF)の2つの気候区に分類される。ツンドラ気候では、短い夏には気温0℃を超えるため、コケ類や草などが生える。ここでは、イヌイットなどの狩猟民族が魚やアザラシなどの動物をとり、生活している。氷雪気候は、南極大陸やグリーンランド内陸部に分布し、一年中雪と氷におおわれている。研究や軍事上の観測基地などを除くと、人は住んでいない。

### ■ 変化する気候 ■

長い地球の歴史を通して気候は温暖化と寒冷化を繰り返している。とくに第四紀と呼ばれる過去 260 万年間は気候が激しく変化した時代であり、氷河が広がる氷期と温暖な間氷期が交互におとずれた。最も新しい氷期のなかでも最寒冷期である約 2 万年前には、スカンディナヴィア半島や北アメリカ大陸などにも大陸氷河が広がっており、全陸地面積の約 3 割が氷河におおわれていた。

気候変動は世界中で同時に起こるとは限らず、気温の上下幅も地域差が大きい。日本では縄文時代前期にあたる約 7000 ～ 6000 年前は気温が高く、海面は現在よりも 2 ～ 3 m 高かったと推測されており、この海域の拡大は縄文海進と呼ばれる。

気候変動のおもな原因は、地球と太陽の間の距離の変化や太陽活動の周期的変化などであったが、近年は人間活動による影響が大きいとされている。気候の急激な変化は人々の生活や文化にも影響を与えている。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---